

土地整理土木工事業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	17~18	工事現場にて、2tトラックより、パワーショベルを下ろし作業中、後部のあおりを開き手で持たず、下ろした為、勢いよくあおり板が下り、はね返り左足膝部分に当たり打撲負傷した。（負傷当日は、さほど痛くなかった為、湿布薬を貼り我慢して仕事をし過ぎていたが、約3ヶ月後、痛みが酷くなった為、受診した。）	42	—
3	9~10	造成工事現場から次の現場へ2トンダンプで発電機を取りに行き、現場の置場でバックホー（移動式クレーン）でダンプの荷台に発電機を降ろし、発電機の玉掛けをはずす際に前かがみになったところ、オペレーターの視野に被災者が旋回した為、バックホーの法面バケットを右肩と左太腿に当てて被災した。	46	1~9
4	9~10	畑土留め工事現場にて、鉄パイプをハンマーで添え手して打ち込み作業中にハンマーが滑り、左手を直撃した。	34	10~29
6	8~9	盛土の現場において、地盤改良のセメント攪拌作業のため、バックホウバケットでの攪拌を指示していたが、指示に従わず、フォーククローに交換しようとバケットを外し、クローに交換中、クローが突然開き、被災者の左足にぶつかった。その際、安全靴を着用していたが、甲に当たった。	58	1~9
7	10~11	場内整備工事現場において、4tダンプの運転席で積載していた残土を下ろすために操作したが、なかなか落ちず、急に滑り落ちた勢いで車体前方が持ち上がり、そのまま車体が地面にたたきつけられた。その衝撃により、腰椎を圧迫骨折した。積載荷重を越えてはいなかった。両足は動く。	66	10~29
		工業団地配水管布設工事（その1）において水道工事中、給水ホースを持っていた時		1

7	14~15	に、水圧が強くかかりホースを持ったまま1m近く飛ばされてしまい、止めてあったダンプの角で強打した。	74	~ 9
7	10~ 11	洗砂池掘削作業中、バックホウのバケット爪が緩んだ為、ピンの交換をしようとしたが、ピン穴が合わず爪先を石頭ハンマーで叩いた際、被災者の左目に金属片が刺さった。	18	~ 50 99
11	11~ 12	被災者を含む5名でUV管布設の為、道路の法面を深さ1.3m掘削し、シーティング（簡易土留め：高さ2.5m、幅1.2m、長さ3m、重さ1.6t）を設置する作業をしていた。被災者がシーティング上に乗っていた泥を落とすため下に置いているほうきを取ろうと右手をシーティングにかけ左手を伸ばしたところ、右手の指先が0.45tバックホウで設置中のシーティングと設置済みのシーティングに挟まれ被災した。バックホウからは死角になっていた。	39	~ 1 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html